

AIと精神科看護

～変化する医療現場と看護のこれから～

基調講演 講師：森 武俊（東京理科大学 先進工学部 機能デザイン工学科 教授）

会期 2026年 **6/26** [金] ～ **6/27** [土]

会場 **アクトシティ浜松** 〒430-7790 静岡県浜松市中央区板屋町 111-1

シンポジウム

AI時代の精神科看護

—AIに委ねること、人間に求められること—

座長

米山奈奈子

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授
一般社団法人日本精神科看護協会 教育認定委員

シンポジスト

木戸芳史

浜松医科大学医学部看護学科 教授
一般社団法人日本精神科看護協会 業務執行理事 教育認定委員長

西岡由江

社会福祉法人ファミーユ高知 高知ハビリテリングセンター センター長
一般社団法人日本精神科看護協会 副会長

小瀬古伸幸

訪問看護ステーションみのり取締役副社長 精神科認定看護師
一般社団法人日本精神科看護協会 理事

市民公開講座

(支部企画)

27日(土) 14:00～

音楽はなぜ私たちの心を揺さぶるのか
～楽理と体験から探る“音の感動のしくみ”～

【プログラム】 ※プログラム等是一部変更することがあります。

基調講演／シンポジウム／第6回精神科看護 CONGRESS

支部推薦論文／一般演題／一般公募企画／共催セミナー

受付期間
参加費

【事前参加申込】 事前申込受付期間：2026年4月1日(水)～5月6日(水・休)
参加費：会員 13,200円(税込) / 非会員 26,400円(税込)

【当日参加申込】 参加費：会員 15,400円(税込) / 非会員 30,800円(税込)

申し込み方法



インターネットで
学術集会専用ホームページからお申込みください。

※FAX、お電話でのお申し込みは受け付けておりません。
※会員とは、一般社団法人日本精神科看護協会の正会員をさします。
※事前申込受付期間は、当日申込の参加費となります。

お問い合わせ先 日本精神科看護協会



TEL：03-5796-7033



E-メール：gakkai@jpna.or.jp



詳細は日本精神科看護協会学術集会専用ホームページをご覧ください。
<http://jpna-gakujutsu.jp/>

お申し込み先



東武トップツアーズ(株) 浜松支店 (担当：小木)
TEL：050-9001-9699

【主催】一般社団法人日本精神科看護協会 一般社団法人日本精神科看護協会静岡県支部

【後援】 厚生労働省/静岡県/浜松市/公益社団法人日本精神科病院協会/公益社団法人日本精神神経科診療所協会/公益社団法人日本看護協会/一般社団法人日本作業療法士協会/公益社団法人日本精神保健福祉士協会
公益社団法人全国精神保健福祉会連合会/公益社団法人全国老人保健施設協会/公益社団法人日本精神保健福祉連盟/公益社団法人日本介護福祉士会/一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会
一般社団法人日本言語聴覚士協会/日本デイクア学会/日本認知療法・認知行動療法学会/認定NPO法人地域精神保健福祉機構/静岡県精神科病院協会
静岡県精神神経科診療所協会/公益社団法人静岡県看護協会/公益社団法人静岡県養士会/公益社団法人静岡県作業療法士会/公益社団法人静岡県薬剤師会/一般社団法人静岡県医師会
一般社団法人静岡県公認心理師協会/一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会/特定非営利活動法人静岡県介護支援専門員協会/きょうされん静岡支部/静岡県看護連盟/聖隷クリストファー大学
順天堂大学保健看護学部/東都大学沼津ヒューマンケア学部看護学科/静岡県立大学法人静岡県立大学/常葉大学/静岡新聞社・静岡放送

こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくれます。

日程	午前	午後
6/26 ^[金] 9:00~17:00 (受付8:20~)	基調講演	式典 ●精神科看護CONGRESS ●助成論文研究発表 ●共催セミナー ●支部推薦論文発表 ●特別企画 ●一般演題・一般公募企画発表
6/27 ^[土] 9:00~16:00 (受付8:20~)	●精神科看護CONGRESS ●支部推薦論文発表 ●シンポジウム ●一般演題・一般公募企画発表	●市民公開講座(支部企画) ●支部推薦論文発表 ●共催セミナー ●一般演題・一般公募企画発表

AIと精神科看護

～変化する医療現場と看護のこれから～

主旨文

人工知能 (AI: Artificial Intelligence) とは、人間の知的活動をコンピュータに模倣させる技術の総称であり、学習 (機械学習)、推論、パターン認識、言語理解などを通じて、自ら判断・行動する能力を備えたシステムです。これまで医療分野においては、画像診断の支援やカルテの自動記録、バイタルサインの予測分析などに応用されてきましたが、近年では精神科領域や看護実践への応用も始まり、注目を集めています。

精神科看護においてAIは、患者の言語表現や表情・音声データの解析を通じた精神状態の予測、電子記録の効率化、さらにはチャットボットによる対話支援など、さまざまな可能性を秘めています。こうした技術は、私たち看護職の業務をサポートし、ケ

アの質の向上や負担軽減に寄与することが期待されています。

しかしながら、精神科看護の本質は「人と人との関係性」にあり、言葉にならない想いや、表情のわずかな変化、沈黙の時間に宿る意味に気づくことこそ、看護職に求められる力です。こうした感受性や関係構築力を、AIがどこまで担えるのか。あるいは、私たちがAIとどう協働すれば、よりよいケアを実現できるのか。技術導入の裏には、倫理・プライバシー・看護観といった重要な問いも横たわっています。

本学術集会では、AIの精神科看護における活用事例や今後の展望について考えていきます。現場で働く看護職として、AIとどう向き合い、どう活かすのか。「変わらないもの」と「変えていくべきこと」の両方に目を向けながら、精神科看護の未来をともに探っていきましょう。

多忙な臨床の中で、つい遠い存在に思えるAI技術ですが、本学術集会を通じて「現場につながるテクノロジー」として身近に感じていただければ幸いです。

基調講演

講師：森 武俊

東京理科大学
先進工学部 機能デザイン工学科 教授



シンポジウム

AI時代の精神科看護

—AIに委ねること、人間に求められること—

座長



米山奈奈子

シンポジスト



木戸芳史



西岡由江



小瀬古伸幸

その他のプログラム

第6回精神科看護CONGRESSは、厚生労働省より令和8年度診療報酬改定、精神保健医療福祉の今後の施策推進について、身体的拘束の最小化、働きやすい環境づくりと人材確保、精神科認定看護師制度、特定行為研修などのテーマを取り扱います。さらに支部推薦論文、一般演題では、全国の精神科看護の現場から、さまざまな切り口での発表があります。また一般公募企画は、日頃の精神科看護の取り組みをともに学びあえる機会や交流の場を提供します。

【主催】一般社団法人日本精神科看護協会 一般社団法人日本精神科看護協会静岡県支部
こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくれます。